

名古屋大学柔道部「カナダ遠征」

申請代表者：久保亜季子
(柔道部 医学部保健学科4年)

名古屋大学全学同窓会による支援を受け、2010年9月26日(日)～10月2日(土)の日程で、名古屋大学柔道部師範引率の下、男子部員1名、女子部員3名の計5名でカナダへの遠征を実施し、これを無事終えることができました。期間中はケロウナ、カムループス、バンクーバーの3都市を回り、ケロウナ、カムループスでは柔道教室を開催して、現地での柔道の普及状況、日本の柔道との相異などを肌で体感し、柔道関係者と懇親を深めることができました。また、カムループスでの老人ホームの慰問や、バンクーバーで The University of British Columbia の視察を行い、そこで知り合った人々とも交流を深めることができました。そしてこの遠征に参加した部員にとっても、初めて海外で柔道を指導し、英語でのコミュニケーションに苦心し、カナダの雄大な自然に触れることで、自分の意見をもつことの重要性、相手に伝えようとする意志表示など、何事もまずは自分からアプローチしていかなければならないことを痛感するよい経験となりました。大きな事故や問題を起こすことなく遠征を終えることができたことに加え、遠征後にケロウナと姉妹都市である春日井市のまつりに参加し、再びケロウナの方々と交流できたことや、この遠征に関心を抱いた高校生が国外でも活動する名古屋大学への入学を希望するなどの反響があり、遠征後も人と人の繋がりが続いていることを実感することができました。以上のことより、海外での柔道のあり方を学ぶだけでなく、地域間の継続した友好関係が築けたことは今後の活動の一助となり、広く情報交換をしていくという当初の目標を達成することができました。名古屋大学内だけに留まらず、外に発信していくという遠征で得た積極性を発

揮し、以降の活動に活かしたいと思います。最後になりましたが、今回ご支援いただきました名古屋大学全学同窓会に厚く御礼申し上げます。



ケロウナでの記念写真